

FCMセミナーのお知らせ

演題：『FCMセミナー～蛍光色素の選択基準とFlowJo™
解析用ソフトウェアを用いた解析手法の紹介～』

演者：日本ベクトン・ディッキンソン株式会社
田口 雄亮 氏

日時：令和5年7月27日（木）15：30～17：00

開催方法：ハイブリッド開催（現地+オンライン開催）

現地参加 = ADRES医科学研究支援部門1階多目的ルーム

申し込み先 = <https://forms.office.com/r/NR7L00mMpV>

Web参加 = Microsoft Teams

申し込み先 = <https://forms.office.com/r/GgtLQYEBvL>

（締切：2023年7月26日（水）17：00）

内容

フローサイトメーター（FCM）は、シングルセルレベルで細胞の性質や機能を解析することができます。さらにこれらの情報（マーカー）を1細胞から同時に多数得ることが可能です。そのためには抗体を介して細胞に蛍光色素でラベルする必要がありますが、数多くある蛍光色素の中から何を選択すればいいのか、またどのように抗体と蛍光色素を組合せればいいのかを考慮することは多くの研究者にとって難しいとされています。

本セミナーではFCM実験における蛍光色素の選択基準において、蛍光色素の特徴や蛍光補正実施のポイントを説明し、蛍光色素の組合せがよくない場合と良い場合の例を紹介します。

セミナー後半では、FCMの実験データを解析するためのFlowJo™ 解析用ソフトウェアの特徴を紹介し、プロット作成とゲーティング、画像データと統計表の作成、蛍光補正などの手法について説明します。また最新のソフトウェアのバージョンでは多次元解析機能が充実してきていますので紹介します。

～蛍光色素選択のポイント～

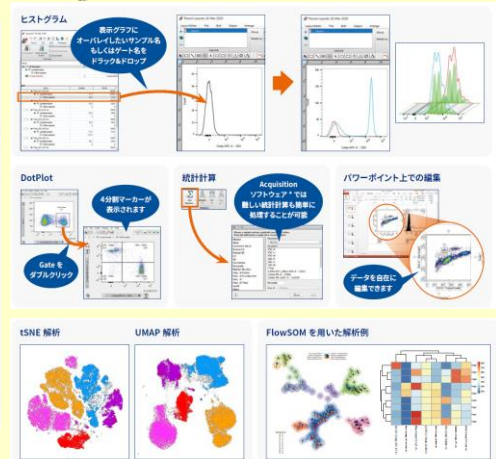
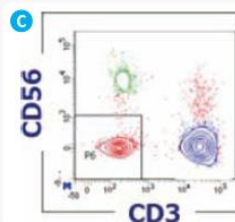
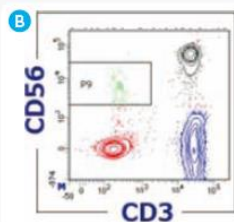
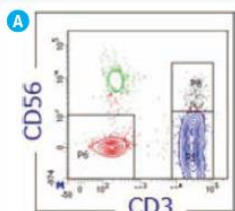
A 機器の光学系に応じた蛍光色素の選択

B 抗原密度と蛍光色素の輝度

- ・ 低発現マーカーには、高輝度の蛍光色素を割り当てる

C 分離を最大にするための、蛍光漏れ込みを最小限に抑えた組み合わせ

- ・ 特に、共発現での漏れ込みに注意する
- ・ 蛍光色素によってスプレットしやすいもの、しにくいのがある



<お問合せ先> 医科学研究支援部門

内線: 5179 MAIL: [ikagaku-support\[@\]m.ehime-u.ac.jp](mailto:ikagaku-support[@]m.ehime-u.ac.jp) (※[@]を半角のアットマークへ置き換え)